

年 度 評 価 シ ー ト

課名 観光・MICE推進課

施設の名称 静岡市清水港船宿記念館	指定管理者名 公益財団法人するが企画観光局
1 履行状況	
<p>令和3年度は、新たな指定管理期間（令和3年度から令和7年度までの5年間）の1年目であり、指定管理者は前期間から引き続き指定管理業務を担っている。</p> <p>指定管理業務は、業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p>	
<p>(1) 維持管理業務</p> <p>建築物及び建築設備の保守点検、施設内の清掃等を日常的に実施したほか、専門的な知識又は技術を必要とする「警備業務」、「ねずみ、衛生害虫防除業務」等の維持管理業務を第三者に委託して実施した。</p> <p>また、施設修繕を適宜実施し、来館者が安全かつ快適に利用できるよう、施設の適切な維持管理に努めている。令和3年度は、外壁及び誘導灯交換の修繕を行った。</p>	
<p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和3年度における施設利用者数は4,330人で、令和7年度の目標値である18,000人に対して達成率は24.1%であった。指定管理者が独自に設定した令和3年度の目標値である14,000人にも及ばず、達成率は30.9%であった。令和2年度の来館者数4,783人から453人減となっており、外的要因としては、緊急事態宣言による約1か月間の休館（8/20～9/30）の他、例年多くの集客が見込まれる「清水みなと祭り」や「日本平ウォーク」等のイベントの開催中止や、清水港に入港する客船が国内船籍に限られた（2件）という点が挙げられるものの、原因を分析し前年度割れを防ぐ取組を推進してほしい。</p>	
<p>(3) 事業実施状況</p> <p>臨時休館の影響により、当初開館20周年事業として企画したものをはじめ、毎年度開催していた英語教室、昔遊び教室、押し花展示等の事業についても、感染症対策等を理由に中止や縮小を余儀なくされた。他方、日本茶インストラクターを講師に招いた「新茶の入れ方」講座の実施や、当初年間事業計画になかったSPAC朗読劇の開催など、創意工夫し誘客を図る様子が見られた。</p>	
<p>【令和3年度の主な主催事業】</p> <p>ア 清水の新茶を楽しむ（4/29～5/9）</p> <p>イ 新茶の入れ方講座（5/22、参加者5人）</p> <p>ウ 次郎長命日限定イベント</p> <p>エ ミニ七夕笹飾り（7/2～7/7）</p> <p>オ 末廣de駄菓子屋さん（3/20～6/6）</p> <p>カ 次郎長巷談（11/17、参加者15人）</p>	

- キ 干支の置物作り (12/1, 4、参加者13人)
- ク SPAC朗読劇「死神」公演 (12/4、参加者19人) ※開館20周年記念事業
- ケ 次郎長ウォーキング (3/30、参加者7人)

【令和3年度の主な展示事業】

- ア つるし飾り展 (通年)
「日本の民話つるし飾り」、「端午の節句つるし飾り」、「日本の祭りつるし飾り」
- イ 柳原良平氏原画展示

2 市民 (利用者) からの意見・要望の内容とその対応状況の評価 (クレーム対応 等)

指定管理業務に対する苦情等は特段なかったが、アンケートの意見欄では、施設運営や展示内容に対し、「スタッフの親切な対応」、「建物の魅力」、「展示内容」等について肯定的評価がある一方、様々な意見が寄せられており、こうした意見に対し、継続的な運営の検証及び改善に取り組んでもらいたい。

【令和3年度の主な意見】

- ・駐車場がわかりにくい。
- ・写真映えするように説明文も工夫するとよい。
- ・知らないことばかりで広く宣伝したほうが良い。

3 市民 (利用者) へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設利用者に対して通年で「建物・設備」、「案内」、「展示内容」について満足度調査を行った結果、全体として88.8%が「とてもよかった」、「よかった」と回答しており、前年度の93.2%に比べるとやや減少したものの、引き続き高い水準を保つことが出来ている。(令和3年度内訳…「建築・設備」満足度：91.2%、「案内」満足度：90.0%、「展示内容」満足度：85.3%)

(2) 市民アンケート

課所管5施設(静岡市東海道広重美術館、静岡市由比本陣施設、静岡市清水港船宿記念館、静岡市坐漁荘記念館、静岡市三保真崎グラウンドゴルフ場)で実施しているアンケート調査によると、施設の認知度は19.4%と昨年度を上回ったものの(令和2年度は認知度15.1%)、いまだ認知度に課題が残る。観光がマイクロツーリズム化されていく中で近隣地域への認知度向上、次郎長を知らない世代が増える中でSNS等を活用した功績の発信、日本家屋を知らない世代への建築物としての魅力発信、学校の校外学習の場として活用など、PRの強化だけでなく、その方法の工夫にも期待したい。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりにより執行されており良好である。

5 総括的な評価 (課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など)

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

本施設は、市内外からの集客施設として、「清水港周辺地区の地域振興及び観光交流の場」とであるとともに、「清水の次郎長所縁の施設として地域の歴史文化を発信する場」

と位置付けられている。

来館者数の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響が及ぼす観光交流客数や客船寄港件数の減少といった外的要因を認めつつも、こうした状況下での集客に向けた取組を工夫する他、来館者アンケートからみえるリピーターの割合の少なさは課題の一つとして認識する必要がある（令和3年度来館者アンケートによると、回答者の85.9%が初回来場者。）。

一方、新型コロナウイルス感染拡大によるイベント規模の縮小や中止という影響を大きく受けたものの、令和3年度は、初めての試みとしてSPACの朗読劇を開催して参加者から大変好評であったことなど、困難に直面しながらも利用者獲得に向けた試みを実施していく姿勢は評価できる。また、若い世代に地域資源を再認識してもらう契機として、学校の校外学習利用に繋がる営業活動を進めるなどの工夫も必要であろう。

地元商店街との連携のさらなる強化、次郎長生家や梅蔭禅寺といった次郎長関連施設との連携を通して、施設や展示が持つ魅力の発信や、まちあるき観光の拠点としての機能を発揮するとともに、引き続き施設認知度の向上に向けた取組に期待したい。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。